

---

---

# 2020年度 岐阜協立大学

## 学内ゼミナール大会 参加論文

---

---

ゼミ名 岸ゼミナール Aチーム

テーマ スポーツにおける声援がアスリートに与える心理的影響  
～黄色い声援で男性アスリートは本当に燃えるのか?～

参加者 太田優希、奥村凌大、大戸雅人、堀将大、源雄大

### 目次

1. 要約
  2. はじめに
  3. 方法
    - (1) 対象者と調査時期
    - (2) 調査内容
    - (3) 統計処理
  4. 結果と考察
    - (1) 大会別の応援効果
    - (2) 試合ごとの応援効果の性差について
  5. まとめ
- 引用・参考文献

資料 声援における心理状態の変化についての調査

### 要約

本研究では、スポーツにおける声援の質や種類がアスリートの感情やモチベーションに与える影響について検討した。対象者は18歳から22歳までの大学アスリート120名であった。場面想定法を使用して、試合の重要度、観客の有無、性差による感情とモチベーションを測定した。結果は、試合の重要度が高まるほど声援はアスリートの感情とモチベーションを高める。男性の声援は全国大会において女性アスリートの緊張度を高める。女性アスリートの声援は重要度関係なく男性アスリートの感情とモチベーションを高めることが示された。男性アスリートにとって黄色い声援女性の声援は試合の重要度とは関係なく感情とモチベーションを高めることから、男性アスリートにとってプラスの影響があることが示された。

キーワード アスリート、声援、モチベーション、感情、場面想定法

## 1. はじめに

競技スポーツにおいて、プロスポーツばかりでなく、人気のある試合で数多くの観客が応援を行っている。しかしながら現在では、新型コロナウイルスの影響によって、大会の中止やスポーツの試合が無観客で行われている。スポーツの醍醐味の一つである声援や応援は、試合を作る上で必要不可欠なものである。また、応援と言ってもチームだけではなく個人的に好きな選手に対して声をかける人などもある。そこで私たちは、アスリートは応援によりパフォーマンスが向上するのか否かという疑問を持った。スポーツにおける応援でよく聞くものに黄色い声援というものがある。黄色い声援とは、女性や子供の甲高い声での応援のことである。また一方で、男性応援団のように低音の太い声援もある。こちらは色で例えるとすれば、黒い声援と言うことになるのではないか。そこで今回は、特に男性のアスリート場合、黄色い声援を受けることによって、感情の高まりやモチベーションが上がるのではないかという仮説を立てた。

そして、スポーツにおける声援がアスリートに与える心理的影響がどのようなものなのかに関する先行研究を集めた。入江（2013）によると、試合前に観るモチベーションアップのための映像の中で、「チームメイトの励ましや応援している様子」や「応援席で友人や保護者が応援している様子」など周りの人たちから応援されるビデオを観ると、やる気が出るという回答が多いことが報告された。次に、岡澤ら(2002)の研究では、卓球選手を対

象に選手が応援を受けた時の意見をまとめた結果、「試合に挑みやすくなった」「応援が支えになった」「気持ちが盛り上がった」などといった結果が多く、応援によってマイナス状態から脱することができ、実力を発揮することができるかと考察している。

そして、野田（2017）の研究では、新体操選手 8 名を対象に、観客やファンの視線についてどう思うかのインタビューをした結果、「良かった」「カッコ良かった」「成長したね」などの称賛を励みにしている選手が多く、多くの選手が観客やファンにかっこ良く見られるために力が入るという考察を行なっている。さらに、金井・島崎(2015)の研究では、室内ジョギングにおいて対象者に声援ありとなしでジョギングを行ってもらった結果、声援ありの方が対象者は「頑張ろう」という気持ちになり、速度が上がるという研究結果が報告された。この結果から、選手を応援するファンなどの声援によるアスリートへの影響が大きいことがわかる。

吉川（2019）の研究では、日本の J リーグを対象に観客数によってホームチームとアウェイチームの得点がどのように変化するかを検討したところ、ホームチームの得点は、観客数が多くなればなるほどに有意に上がり、アウェイチームの得点は、有意な変化は見られなかった。つまり、ホーム側の選手は観客数が増えるとパフォーマンスも比例して向上するが、アウェイ側の選手はプレッシャーとなってパフォーマンスが低下していることが分かった。つまり、チームは多くのサポーターがスタジアムに来ることによりパフォーマンスが強化されるのである。

さらに、釘原（2013）の研究では、野球のホームアドバンテージについて、レギュラーシーズンのホームでの勝率は日本が 53.36%、米国が 53.79%であり、いずれもホームでの

観客効果を要因の一つとしている。つまり、野球においても観衆の応援がチームの勝率を上げている。しかし、日本シリーズやワールドシリーズなどでは日本が52%、米国が62%となっており約10%の差がある。この結果から、日米では試合の重要性によりホームアドバンテージの効果が異なり、米国では報酬の高い試合がチームの動機付けとなって勝率を高めていると考察する。さらに川崎（2013）は、ソフトテニス選手を対象にして試合の重要性の高低と応援の有無の影響を検討しています。そして、重要ではない試合で応援を行った場合には失点率が高くなったという研究結果を報告している。この結果は、状況によっては応援によってアスリートのパフォーマンスが低下することを示すものである。

小池（2016）研究では、大学陸上競技部員男女677名を対象に応援されている場面を想定して回答するという場面想定法を用いて、応援の心理的結果を検討している。その結果、感情効果は女性の方が高く、調子が良いときや大会の重要性が高いときによりモチベーション高まりやすいことを指摘している。

これらの研究から、応援や声援は選手のモチベーションや感情に影響していると考えられる。そこで本研究の目的は、スポーツにおける声援の質や種類がアスリートの感情やモチベーションに与える影響について検討する。そして、男性と女性の声援によっての性差があるのか、全国大会、練習試合、無観客試合の比較を検討する。

## 2. 方法

### （1）対象者と調査期間

本研究の対象者は、18 歳から 22 歳までの平均年齢  $19.8 \pm 1.20$  歳の学生アスリート 120 名であった。調査を実施した期間は 2020 年 8 月から 9 月の間に調査を実施した。対象者には、年齢、性別、専門競技、ポジション、競技レベルを問う。次に対象者の性別、競技種目は表-1 に示す。7 種目以上にわたり、男性 96 名、女性 24 名になった。

表-1 対象者の性別、種目別の内訳

種目	男性	女性	計
バスケットボール	15	2	17
バドミントン	0	1	1
バレーボール	6	7	15
野球	60	0	60
サッカー	4	0	4
陸上競技	3	2	5
その他	8	12	20
計	96	24	120

次に対象者の競技レベルの内訳を図-1 に示す。全国大会、地区大会、都道府県大会の出場経験者が多く、今回の対象者は一定の競技レベルを有するものといえる。

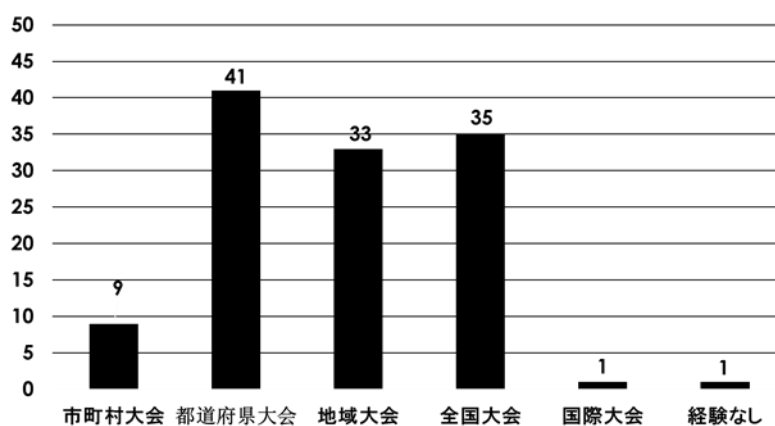


図-1 対象者の競技レベルの内訳

対象者の競技経験年数は平均  $9.7 \pm 2.57$  年、平均練習日数は、一週間あたり平均  $4.5 \pm 1.79$  日、練習時間は、1日あたり平均  $3.5 \pm 1.16$  時間となった。このことから、本対象者は、かなりの経験と練習量をこなしているアスリートであると言える。

## (2) 調査内容

調査には、場面想定法を用いた(小池、2016)。場面想定法とは試合で観衆やチームメイトから応援を受けている場面を想定しながら回答する測定方法である。応援を受けている場面における3つの感情(快適度、緊張度、興奮度)とモチベーションについて測定を行った。

4つの因子それぞれについて、「非常に下がる」から「非常に上がる」までの7件法で回答を求めた。各設問は、以下の通りである。

1. 全国大会での男性の応援を受けてどのように感じるか？
2. 全国大会での女性の応援を受けてどのように感じるか？
3. 練習試合での男性の応援を受けてどのように感じるか？
4. 練習試合での女性の応援を受けてどのように感じるか？
5. 全国大会で無観客試合の場合どのように感じるか？
6. 練習試合で無観客試合の場合どのように感じるか？

## 3. 結果と考察

## (1) 大会別の応援効果の比較

表-2 は応援による3つの感情とモチベーションを全国大会、練習試合、無観客試合の間で分散分析により比較したものである。

結果は、快適度では1%の有意差があり、その他の緊張度、興奮度、モチベーションでは5%の有意差が確認できた。いずれの因子においても、全国大会、練習試合、無観客試合順で声援が心理的な効果をもたらすことを示している。無観客ではチームメイト以外の応援はほとんどないと考えられ、全国大会や練習試合では応援によって感情やモチベーションが高まるという応援効果によるものと考えられる。

表-2 試合別の各因子得点の比較

	全国大会	練習試合	無観客試合	F値
快適度	4.53 (1.09)	4.38 (1.04)	3.68 (1.20)	19.8**
緊張度	4.54 (1.04)	4.20 (0.10)	3.27 (1.15)	45.9**
興奮度	5.02 (1.02)	4.59 (1.0)	3.02 (0.98)	132.0**
モチベーション	5.20 (1.09)	4.88 (1.09)	3.12 (1.06)	130.4**

(\*\* $p < 0.01$ )

## (2) 試合ごとの応援効果の性差について

表-3 は全国大会において男性の声援を受けたときの3つの感情とモチベーションの性差をt検定によって比較したものである。結果として、男性声援では緊張度に5%水準の有意差が認められ、女性は男性よりも高いことを示している。他の項目は有意差が見られなかった。

このことから、全国大会の男性による声援で女性は男性よりも緊張度が高まると考えられる。緊張感が高まることは、パフォーマンスにとっては有利に働く場合と不利になる場

合があり、必ずしもプラスの効果とは言えない。女性アスリートは重要な試合での男性の応援によって男性より動揺してしまうのかもしれない。

表 - 3 全国大会での男性声援による性差の比較

	女性(N = 24)	男性 (N = 96)	t 値
快適度	4.1 (0.58)	4.4 (1.26)	1.02
緊張度	4.6 (1.2)	4.0 (1.03)	2.34*
興奮度	5.0 (1.23)	4.5 (1.35)	1.53
モチベーション	5.2 (1.54)	4.8 (1.47)	1.11

(\*\*p<0.01)

表-4 は、全国大会において女性の声援を受けたときの3つの感情とモチベーションを性別に t 検定によって比較したものである。女性の声援では快適度とモチベーションに1%の有意差があり興奮度では5%の有意差が認められ、いずれも女性よりも男性が高いという結果となった。このことから全国大会では女性声援によって男性は女性よりも快適度、興奮度、モチベーションが高くなることが分かる。男性アスリートにとって、大試合での女性の声援は快適になりつつ興奮してやる気も高まるものと考えられる。



表 - 4 全国大会での女性の声援による性差の比較

	女性(N = 24)	男性 (N = 96)	t 値
快適度	4.0 (0.87)	4.9 (1.49)	3.03
緊張度	4.8 (1.28)	5.0 (1.47)	0.36
興奮度	4.9 (0.84)	5.6 (1.25)	2.34*
モチベーション	4.9 (0.95)	5.7 (1.17)	3.20**

(\*\*p<0.01)

表-5 は練習試合においての男性の声援を受けたときの3つの感情とモチベーションを性別に t 検定によって比較したものである。結果として、練習試合の男性の声援ではいずれの感情、モチベーションにおいても有意差は認められなかった。このことから、重要度の低い試合では男性の声援に性差は見られないことが分かった。

表 - 5 練習試合での男性声援による性差の比較

	女性(N = 24)	男性 (N = 96)	t 値
快適度	3.9 (0.48)	4.1 (1.40)	0.64
緊張度	4.3 (0.77)	4.0 (1.29)	1.64
興奮度	4.6 (1.05)	4.1 (1.37)	1.59
モチベーション	4.8 (1.09)	4.8 (1.48)	1.35

(\*\*p<0.01)

表-6 は練習試合において女性の声援を受けたときの3つの感情とモチベーションを性別に t 検定によって比較したものである。結果として、練習試合の女性声援では、快適度、興奮度、モチベーションに1%の有意差が見られ、いずれも女性より男性の方が高いことが示された。このことから、練習試合でも全国大会と同様に、女性の声援では男性の

快適度、興奮度、モチベーションは高くなることが分かった。男性では、大会の重要度に関わらず女性の声援はプラスに働いていることが考えられる。

表 - 6 練習試合での女性声援による性差の比較

	女性(N = 24)	男性 (N = 96)	t 値
快適度	4.0 (0.87)	4.9 (1.28)	2.96**
緊張度	4.0 (0.69)	4.4 (1.28)	1.64
興奮度	4.1 (1.14)	5.2 (1.29)	3.68**
モチベーション	4.6 (1.29)	5.5 (1.35)	2.90**

(\*\*p<0.01)

#### 4. まとめ

本研究の結果、試合での多くの観衆による声援は男女に限らずアスリートにとって心理的な効果をもたらすことを再確認することが出来た。試合の重要度が高まるほど、声援はアスリートの感情とモチベーションを高める効果をもたらす。そして、男性の声援は全国大会での女性アスリートの緊張感を高めるものと考えられる。逆に女性の声援は、全国大会でも練習試合でも男性アスリートの快適度、興奮度、モチベーションを高めることが分かった。すなわち、男性は女性による黄色い声援を受けることにより快適になり、興奮度が上がり、モチベーションも高まる、逆に、男性による黒い声援では男性アスリートは感情の高まりはないが、女性アスリートには緊張感を高めてしまう効果があるという結果を得ることができた。

#### 引用・参考文献

- ・ 入江裕子(2013)「選手のモチベーションアップに関する研究」平成 25 年度神奈川県立

体育センター報告書

- ・ 島崎貴志・金井秀明(2015)「室内ジョギングにおける遠隔声援による 声援効果に関する研究」情報処理学会研究報告、11, 1-8
- ・ 釘原直樹(2013)「人はなぜ集団になると怠けるのか」中公新書
- ・ 川崎達也(2010)「勝敗決定直前の認知上の失点率がパフォーマンス に及ぼす影響」(大阪大学人間学部卒論釘原直樹(2013)「人はなぜ 集団になると怠けるのか」中公新書に所収)
- ・ 小池輝(2016)「陸上競技における声援が選手にもたらす心理的効果」平成 29 年度順天堂大学学院スポーツ健康科学研究科修士論文
- ・ 吉川拓真(2019)「観客数がプロサッカー選手のパフォーマンスに与える影響の実証分析」2018 年度高知工科大学卒業論文

## 資料

### 声援における心理状態の変化についての調査

#### 調査目的

この調査は声援における心理状態の変化を比較することを目的とします。この調査結果はゼミナール大会で使用され統計的に処理されます。あなたの個人情報が公表されることはありません。ご協力をお願いします。

性別：男性・女性

年齢 歳

専門種目：

ポジション：

競技年数：

競技レベル：

活動状況：

---

今まで経験した大会（市大会、県大会、地方大会、全国大会）

あなたが試合会場でプレー直前に大勢の観衆から応援を受けている姿を想像してください。

次に示すそれぞれの場面における感情について、1. 非常に下がる～7. 非常に上がる の中からあなたが思うものを1つ選んでください。

1. 重要な大会で、女性からの声援を受けてどう感じるか。

非常に下がる    かなり下がる    やや下がる    変化なし    やや上がる    かなり上がる

非常に上がる

快適度    .    .    .    .    .    .    .

緊張度    .    .    .    .    .    .    .

モチベ    .    .    .    .    .    .    .

興奮度    .    .    .    .    .    .    .

2. 重要ではない試合で、女性からの声援を受けてどう感じるか。

非常に下がる    かなり下がる    やや下がる    変化なし    やや上がる    かなり上がる

非常に上がる

快適度	・	・	・	・	・	・	・
緊張度	・	・	・	・	・	・	・
モチベ	・	・	・	・	・	・	・
緊張度	・	・	・	・	・	・	・

3. 重要な大会で、男性からの声援を受けてどう感じるか。

非常に下がる    かなり下がる    やや下がる    変化なし    やや上がる    かなり上がる

非常に上がる

快適度	・	・	・	・	・	・	・
緊張度	・	・	・	・	・	・	・
モチベ	・	・	・	・	・	・	・
興奮度	・	・	・	・	・	・	・

4. 重要ではない試合で、男性からの声援を受けてどう感じるか。

非常に下がる    かなり下がる    やや下がる    変化なし    やや上がる    かなり上がる

非常に上がる

快適度	・	・	・	・	・	・	・
緊張度	・	・	・	・	・	・	・
モチベ	・	・	・	・	・	・	・
興奮度	・	・	・	・	・	・	・

5. 重要な試合で大観客を前にするとどう感じるか。

非常に下がる    かなり下がる    やや下がる    変化なし    やや上がる    かなり上がる

非常に上がる

快適度	・	・	・	・	・	・	・
緊張度	・	・	・	・	・	・	・
モチベ	・	・	・	・	・	・	・
興奮度	・	・	・	・	・	・	・

6. 重要ではない試合で、無観客の場合どう感じるか。

非常に下がる かなり下がる やや下がる 変化なし やや上がる かなり上がる

非常に上がる

快適度	・	・	・	・	・	・	・
緊張度	・	・	・	・	・	・	・
モチベ	・	・	・	・	・	・	・
興奮度	・	・	・	・	・	・	・

ご協力ありがとうございました。